

姫小通信

妙高市立姫川原小学校

第3号

平成22年6月15日

あきらめず 仲間を信じて 優勝だ!!



白熱した応援合戦

地区合同運動会5月29日(土)

意欲的な子どもを育てるための「叱り方」

校長 竹内 修一

人を「叱る」ことは、その行為に意味を否認し、今後は止めて、別の方向に歩むよう求める期待であり、要求でもあります。価値無き行為の中止、切断の強調です。

大人は、冷静に叱る基準と道徳観をもち、成長期の性差、能力差を考えて、正しい価値判断力を育てることに心がけなければなりません。

従って、大人はうまく「叱る」ことを身に付けることが大切だと思います。

※こんな叱り方をしていませんか？

<子どもたちに嫌われる大人の叱り方>

(ア) くどいしかり方

執念深く同じことをいつまでも繰り返す叱り方です。

(イ) 延焼式な叱り方

一つのことを叱っているうちに、別なことに飛び火する叱り方です。

(ウ) さかのぼり式な叱り方

過去にさかのぼって、あのこと、このことを持ち出して再び叱ることです。

(エ) 告げ口式な叱り方

子どもの一つの非を複数の人が叱ることです。学校で叱られ、家でも同じことについて叱られては、子どもは二倍も叱られることになります。

(オ) 火山爆発的な叱り方

子どもは自分が悪い時は叱られることは認めるが、大人の感情で叱られるのは嫌いです。

(カ) 焦点ぼけた叱り方

誤解や誤認による叱り方は、子どもが反感を抱きます。

最近、大人の叱り方が下手になったと聞きます。子どもにはアクセルはありますがブレーキが無いことから、身近にいる大人がしっかりとブレーキを掛けてやらなければなりません。それは、愛のある、理性のある、子どもの人格を認める叱り方だと思います。



地区合同運動会

シャッターチャンス！！



声援に応えて力いっぱい走り



「なかよし班」で力を合わせて



鼓笛隊の演奏も練習の成果をしっかりと発揮しました。



例年以上に、中学生もたくさん参加してくれました、



子どもからお年寄りまで一つに繋がった「ジャンケン列車」。PTAの企画によるフリー参加種目は大好評でした。

今年も皆様のご協力で、地域一体となった運動会ができました。ありがとうございました。

新井中学校区「メディアコントロール」(11日～17日)

姫小「読書週間」(10日～18日)

妙高市の「朝！元気スタート運動」の一環として、今年度もメディアコントロールに取り組みます。取組のポイントは次の3つです。

- 食事の時は、テレビを消そう。
- 内容を考えて、見る番組を決めよう。
- テレビ、テレビゲームは、時間を決めよう。

学校では、この期間に合わせて、読書旬間を設定しています。普段の生活を見直し、テレビを消して、読書をしたり、会話を楽しんだりする時間に、家族そろっての取組にしてほしいと思います。ご協力をお願いします。

姫川原小学校 学力向上の取組

与えられたことは真面目に取り組む。しかし筋道を立てて考えたり自分の考えを説明したりする点が全体的に弱い。このような実態から、今年度は下記の点に力を入れて取り組んでいきます。

1 自分の考えをもち、伝え合い、高め合う学習活動の工夫

自分で考えたことを順序立てて説明する力を伸ばし、子どもたちがお互いに自分の考えを伝え合う場を大切にしていきます。

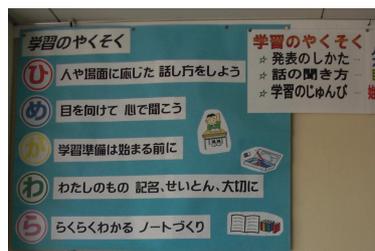
特に算数を中心にして、「とらえる、自力解決、学び合う、まとめる」という流れで授業を進めています。

「とらえる」では学習課題や問題文を知り、今までに習ったことをもとに、課題（問題）が解決しないか見通しをもちます。「自力解決」では図や式、言葉、表、グラフなどを使って自分の力で問題を解決していきます。「学び合う」では自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりしながら同じところや違うところを見つけ比べたり、よりよい方法を考えたりします。どのような言葉を使って説明すれば、より相手に分かりやすく伝えることができるか、説明の仕方も身に付けていきます。そして最後に「まとめる」場を設定し、学習で分かったことなどをまとめていきます。それぞれの段階での考えや学びの過程が分かるように、学年に応じた「ノートづくり」を指導していきます。



2 全校で取り組む学習のやくそく「ひめがわら」

学力の向上を図るためには、まず、学習準備や話の聞き方など学習規律の定着が大切です。そこで今年度は今までのものを見直し、次のような学習のやくそくを設定しました。みんなで合い言葉にしながら、定着を図っていきます。



①	人にわかるように大きな声ではっきり話す。	発表の仕方
②	目と耳でしっかり聞く。	話の聞き方
③	学習準備は始める前に	学習準備
④	わたしのもの 記名、せいとん、大切に	物の大切さ
⑤	らくらくわかる ノートづくり	ノート作り

3 自主的な家庭学習の習慣化

今年度は家庭学習の時間について、低学年30～40分、中学年40～50分、高学年50～60分の定着を図ります。学校からは宿題を出しますが、与えられた課題だけでなく、子どもたちが自主的に学習に取り組む姿を目指します。そのために、家庭学習カードや自主学習の内容を紹介した手引きなどを作成し、活用していきます。

家庭学習は、家庭の協力がなければなかなか身に付きません。保護者の皆様からのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。
(研究主任 辻 亜紀子)



よろしくお願ひします。

用務員 松原 貴行

はじめまして。6月7日より、用務員として姫川原小学校に
来ました松原貴行です。自宅は、旧妙高高原町で、皆さんも知っ
ている通り、スキー場や温泉がたくさんあり、雪もこちらに比
べてたくさん降るところです。しかし私は冬が大好きで、冬場の
休日の楽しみはスキーです。

さて、こちらに来て感じたことは、子どもたちの元気なあい
さつです。大人の自分が見習わなくてはと、学校へ来る度に感
じます。気分よく仕事ができるのも児童のみなさんのおかげだ
と思っています。

これから、校長先生を初め教職員の皆さんと力を合わせ、目
配り気配りで仕事をしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ
いたします。

～生活指導から～

相手の気持ちを考えて行動しよう

新潟県では、心トキめく絆づくり事業として「深めよう 絆 県民運動」が実施されて
います。これは人と人とが認め合い、かかわり合い、支え合うことを柱とした絆を深め
る活動を通して、児童生徒の自己理解・他者理解を深め、自己有用感や人間関係づくり
の能力等の社会性を育成し、いじめや不登校、暴力行為等の解消と未然防止を図ること
を目的としています。

当校では、「深めよう絆強調月間」として、なかよし班活動(縦割り班活動)、エコ委員
会によるエコチェック週間、教育相談等を通して、子ども同士、家族、教職員との絆を
深めていきたいと思ひます。また、地域でも、あいさつを通して絆を深めていきたい
と思ひます。皆様の温かい声がけを引き続き、よろしくお願ひいたします。

(生活指導主任 本田 晃真)



の 行事予定

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1日(木) クラブ活動 | 13日(火) 朝読書(ボランティア読み聞かせ) |
| 2日(金) 全校朝会 | 16日(金) 地区児童会 期末PTA |
| 5日(月) 漢字カテスト週間 | 救急法講習会 |
| 防犯パトロール | 19日(月) 祝日 海の日 |
| 6日(火) 5年自然教室(～7日) | 20日(火) 清掃強調週間 |
| 朝読書(ボランティア読み聞かせ) | 防犯パトロール |
| 8日(水) 体重測定 委員会活動 | 朝読書(ボランティア読み聞かせ) |
| 9日(木) 学校安全の日 音楽朝会 | 23日(水) 1学期終業式 |
| 12日(月) 職員会議 防犯パトロール | 27日(火) プール開放開始 |